

・登米高等学校 志教育実践事例

活動名

登米高等学校「地域活性化プロジェクト」

登米高校：2 学年

普通科（109名）

【活動のねらい】

- ・地域の課題の解決に向けた提案を行う学習を通して地域のことをより深く知り、地域のためにどのように行動していくと良いのか考える機会とする。
- ・課題解決学習を通して課題発見力や情報収集力を高める。
- ・課題解決の方策についてプレゼンテーションを行うことで思考力・判断力・表現力を高める。
- ・活動を通して地域の一員として地域に貢献使用とする志を涵養する。

[志教育の視点]

- ・課題解決学習を通して地域社会の一員としての自覚を持ち、地域に貢献する態度の育成を図る。（かかわる、はたす）
- ・地域の抱える課題について考えることで地域を多様な側面にとらえ、深く知る。（かかわる）

〈活動の流れ〉

- ・総合的な探究の時間で実施した。（週1時間）
- ・コロナ禍の状況を踏まえて、グループでの取り組みを基本とし、感染症対策に留意して実施
- ・地域の抱える課題についてグループで情報収集し、その解決策を提案する。
- ・課題解決の方策についてプレゼンテーションを行って表現力を高めるとともに、他のグループとの質疑応答により幅広い視点からテーマを見つめ考える力を深める
- ・各教科・科目、特別活動との連携を図り、学習した内容が相互に生かせるようにする。
- ・地域の有識者や行政職員から助言いただき、活動に生かす。

ポイント

学習の趣旨を生徒に理解させ主体的な学習に

ポイント

探究のプロセス（課題設定、情報収集、整理分析、まとめ・表現）を意識



夢や志をはぐくむ手立て

- ・地域や他者とのかかわりを意識させる。
- ・地元の課題に目を向けることで主体的な取組にするとともに、地域の一員としての役割を果たすことを意識させる。

か
か
わ
る

も
と
め
る

は
た
す